

花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人／小笠原 誓 発行所／名古屋園芸株式会社
〒460-0005 名古屋市中区東桜2-18-13 tel.052-931-8701
http://nagoyaengei.co.jp/'25
8

名古屋園芸

花の講座
2025年後期受付
はじまります大切な人へ贈る
お盆の花

『朝顔百類』 序文末に、田中長嶺（たなかながね）識 1849-1922 と記載

information

「花の講座」2025年後期のパンフレットが
出来上がりました！

10月から新たに始まる、「花の講座」2025
年後期のカリキュラムが出来上がりました。
後期はクリスマス・お正月などの季節の行事
に合わせたアレンジメントなどの花飾りが毎
年人気で、キャンセル待ちをいただくほどで
す。



『迎春め飾り』

初めてさんでも安心して和気あいきとお楽しみいただけるように、スタッフが講師を務めてゆっくり順番にお話ししますので、ぜひお気軽にご参加ください。

詳細は、店頭で配布するパンフレット、名古屋園芸HPよりご確認ください。開催中の講座の内容などは、公式のInstagramでもご覧いただけます。

＊ご参加には事前のお申し込みが必要になります。
◇お申し込みは
花の講座専用電話 TEL：052-937-3391
受付時間 月～金曜日 10：00～17：00
Webからお申し込みできます！

名古屋園芸 検索

こちらからも
どうぞ →

公式Instagram



花の博物館 第355回

うきよみたてくめのせんりん
浮世見立糸の仙人五渡亭国貞（初代）（『歌川豊国 三代』
文化12年（1815）〜天保13年（1842）

小笠原 誓

同一の絵師による同じ画題の二種類の浮世絵である。久米仙人は、欽明天皇の時代、葛城の里で修行し、神通飛行術を取得。竜門岳から葛城山に飛行するのを常としていた。いつものように飛行していたが、あるとき久米川の辺で洗濯する若い女性の白い肌を見て神通力を失い、墜落する。術を失った仙人は、その後、娘を妻にして、平凡な人夫暮らしをした。

右図はそのパロディーと思われる。洗濯する女性のはだけた胸や足を見て屋根から落ちる屋根葺職人を久米仙人に見立てている。色版がいくつか抜けている。左図は戯作者の十辺舎一九の狂歌賛が書かれている。賛は洗濯をしている女性が誰かの下駄をお尻に敷いていることにふれ「足駄をはき 首たけの恋」で結んでいる。内容はともあれ、園芸としては空樽に植えられた朝顔が面白い。醬油（銚子山十）の二斗樽（直径50cm程度）に朝顔を色違いで数株植えている。通常の陶器鉢では朝顔の寄せ植えには小さ過ぎるので転用したのであろう。今でも生活用品を植木鉢に転用することはしばしばみられるが江戸時代もこのようにして朝顔を楽しんでいた。

＝花の講座のご案内＝

講座番号14『アンティークカラーアレンジメント』
9月27日（土） 10:30～11:30

少し気温が落ち着いて、木々が鮮やかに色づくだす秋の季節、お部屋でも楽しめるアレンジを作ります。
この季節ならではの色彩を楽しむことが出来ます。

＊材料費：4,400円（税込）
＊講習費：1,100円（税込）
＊講師：山田 幸子

講座番号21『かんたん ハングングバスケット』
8月27日（水） 10:30～11:30

季節の花でハングングバスケットを作ります。植え付け方から植物の選び方まで丁寧にお話しします。はじめての方でも簡単に楽しむことができます。

＊材料費：5,500円（税込）
＊講習費：1,100円（税込）
＊講師：加藤 文



◇お申し込みは
花の講座専用電話 TEL：052-937-3391
受付時間 月～金曜日 10：00～17：00
Webからもお申し込みできます！

名古屋園芸 検索

こちらからも
どうぞ →

初秋を彩る、風情ある切花たち

リンドウのリースアレンジ
¥6,000（税込 ¥6,600）

また、エキゾチックな「クルクマ」、くすみピンクの小花が可憐な「オレガノ」、気品豊かな色合いの「トルコキョウ」を合わせたシックなブーケは、秋のはじまりにぴったりの落ち着いた雰囲気を届けてくれます。

秋の気配が少しずつ深まるこの季節。花それぞれの色や形には、その時季らしいやさしさと静けさを感じられます。暮らしにそっと取り入れるだけで、初秋の空気がふわりと広がります。

身近な空間に、少しだけ秋を迎えてみませんか？

夏の余韻が残る中、ふとした風に秋の気配を感じる季節。今回は、そんな“初秋”にぴったりの切花をご紹介します。

まず目をひくのは、深い紫が美しい「リンドウ」。涼しげな佇まいは、お部屋を品よく引き締めてくれます。「ワレモコウ」は、その独特なシルエットが魅力。花束やアレンジに動きを加えてくれます。丸く青紫に輝く「ルリタマアザミ」は、ドライでも人気の高い花。これらを使ったリースアレンジは、初秋の趣をそのまま閉じ込めたような仕上がりで、お家飾りにもギフトにもおすすめです。

初秋を彩るシックなブーケ
¥4,500（税込 ¥4,950）

イマドキの種まきのおはなし

秋まきの種の販売が始まりました。

8月から10月頃を目安にと多くの種類が絵袋に表記されています。しかし、昨今の異常な高温の秋が常になっている環境下においては、上手く生育できないことがあります。

ではどうするか、できるだけ遅く種まきします。正確には、絵袋にある発芽温度、生育温度を合わせます。例えば、パンジーの種まきで言えば、発芽温度は20℃前後、趣味の範囲なら、9、10月まきにするだけで、発芽率も上がり、元気なお花が楽しめますよ。

初心者さんには『ネモフィラ』がオススメです。直まきでき壇やプランターで、秋冬に植える苗と共に楽しめます。種をまいて1センチ程度土をかぶせるだけ、一緒に植えた草花に合わせて水やりすれば簡単に咲かせられますよ。



ネモフィラ

おすすめの種

- ・ネモフィラ
- ・ワスレナグサ
- ・ニゲラ
- ・矢車草
- ・パンジー
- ・ビオラ
- ・スイートピー